



# Cisco Nexus 5000 シリーズの設定の制限値

## Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1)

リリース日 : 2011 年 12 月 7 日

Part Number : OL-25851-01-J

最新リリース : Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1)

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) での Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチの設定の制限値について説明します。このマニュアルは、「[関連資料](#)」(P.10) に示されたマニュアルと併せて使用してください。

## 内容

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「はじめに」 (P.2)
- 「Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値」 (P.2)
- 「Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値」 (P.4)
- 「レイヤ 2 およびレイヤ 3 のトポロジの設定の制限値」 (P.5)
- 「レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE トポロジの設定の制限値」 (P.6)

- 「レイヤ 2 スwitチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値」 (P.9)
- 「レイヤ 2 スwitチング Cisco TrustSec の設定の制限値」 (P.9)
- 「関連資料」 (P.10)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.12)

## はじめに

Cisco Nexus 5000 シリーズ スwitチは、ラインレート、低遅延、ロスレス 10 ギガビット イーサネット、Cisco Data Center Ethernet、Fibre Channel over Ethernet (FCoE)、および現在のネイティブ ファイバ チャンネルに対応した、データセンター アプリケーション向けのスwitチのファミリで構成されています。Cisco Nexus 5000 シリーズには、Cisco Nexus 5500 プラットフォームと Cisco Nexus 5000 プラットフォームが含まれます。

Cisco NX-OS Software Release 5.0(3)N2(1) では、データセンター クラスの Cisco Nexus 5000 シリーズ スwitチの機能を拡張し、高密度、低遅延、マルチレイヤの各サービスを提供する、2 つの新しい Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スwitチが導入されます。

Cisco Nexus 5000 プラットフォームには、次のスwitチがあります。

- Cisco Nexus 5020 スwitチ
- Cisco Nexus 5010 スwitチ

Cisco Nexus 5000 シリーズの詳細については、『*Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide*』を参照してください。

Cisco Nexus 5000 シリーズおよび Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスwitチは、規模を検討するために、次の導入シナリオの下でテストされました。

- レイヤ 2 のみの導入
- レイヤ 2 とレイヤ 3 を組み合わせた導入
- ファイバ チャンネルおよび FCoE の導入



(注)

検証トポロジには、確認済みの制限値が同時に設定された機能をすべて含めました。特定の機能の制限の上限は、特定のプラットフォーム上の設定の制限値またはハードウェアの制限です。

## Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスwitチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値

この項では、レイヤ 2 機能設定のみが含まれているトポロジでの設定の制限値について説明します。

表 1 に、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) での Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスwitチのレイヤ 2 設定の制限値について説明します。

表 1 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 トポロジの設定の制限値

| 機能   | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム                |   |
|--|--|---|
|  | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>                   | 上限 <sup>2</sup>   |
| スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN                                  | 1000 <sup>3</sup>                        | 4013 (31 は VSAN 用に予約)   |
| VLAN/VSAN ID スペース  | 未予約領域 4013                               | 未予約領域 4013  |
| STP 論理インターフェイス   | 16,000 <sup>4</sup>                      | 32,000 <sup>5</sup>   |
| スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)                                 | 128 (10 個の一意の VACL)                      | 1024 (すべての VACL で最大 2048 の ACE エントリに対して、62 個の一意の VACL)        |
| EtherChannel あたりのメンバインターフェイス                             | 16                                       | 16  |
| IGMP スヌーピング グループ   | 4000                                     | 4000  |
| Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチあたりの FEX の最大数                  | 24                                       | 24  |
| vPC Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチ ペアにデュアル ホーム接続された FEX の最大数 | 24                                       | 24  |
| MAC テーブル サイズ   | 25000 のユニキャスト エントリおよび 4000 のマルチキャスト エントリ | 2000  |
| スイッチ ポート EtherChannel の数                                 | 48 : Nexus 5548 または Nexus 5548UP スイッチ    | 48 : Nexus 5548 または Nexus 5548UP スイッチ<br>96 : Nexus 5596 スイッチ |
| FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)                         | 576                                      | 1152  |
| SVI の数   | 2  | 256   |
| FabricPath VLAN  | 1000 <sup>6</sup>                        | 4000  |
| FabricPath スイッチ ID                                       | 128                                      | 128   |
| FabricPath マルチキャスト ツリー                                   | 2  | 2   |
| FabricPath トポロジの数  | 1  | 1   |
| FabricPath コア ポート チャネルの数                                 | それぞれ 4 個のポートを備えた 4 個のコア リンク              | 16  |

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルにした場合に、検証されたスケール機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケール能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 4013 の VLAN が、レイヤ 2 スイッチング、ファイバ チャネルおよび FCoE トポロジの設定の制限値について検証済みです
4. 32,000 の STP 論理インターフェイスがトポロジで検証されました。
5. 32,000 の PV の基準数は、PVST、MST および非 STP モードに適用されます。
6. 4000 の FabricPath VLAN が、ユニファイド ファブリック トポロジでテスト済みです。

## Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値

表 2 に、Cisco Nexus 5000 シリーズのデュアル ホーム接続の Fabric Extender 設定が含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

**表 2 Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング デュアル ホーム接続の Fabric Extender の設定の制限値**

| 機能   | Cisco Nexus 5000 プラットフォーム                        |  |
|--|--|--|
|  | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>                           | 上限 <sup>2</sup>                                  |
| スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN                          | 507  | 507 (FCoE がイネーブルの場合は 504 - 31 は SAN 用)           |
| VLAN/VSAN ID スペース                                | 未予約領域 4013                                       | 未予約領域 4013                                       |
| STP 論理インターフェイス                                   | 12,000   | 12,000   |
| スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)                         | 128 (10 個の一意の VACL)                              | 1,024 (128 個の一意の VACL)                           |
| EtherChannel あたりのメンバインターフェイス                     | 16   | 16   |
| IGMP スヌーピング グループ                                 | 1000   | 1000   |
| Cisco Nexus 5000 シリーズあたりの FEX の最大数               | 12   | 12   |
| vPC Cisco Nexus 5000 シリーズにデュアル ホーム接続された FEX の最大数 | 12   | 12   |
| MAC テーブル サイズ                                     | 13,800   | 16,000   |
| スイッチ ポート EtherChannel の数                         | 16 (組み合わせて 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート) | 16 (組み合わせて 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート) |
| FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)                 | 576  | 576  |
| SPAN セッション                                       | 2 つのアクティブ セッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN        | 2 つのアクティブセッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN         |
| 設定可能な QoS グループ (クラス デフォルトを含む)                    | 5  | 5  |
| ドロップなし QoS グループ                                  | 1 クラス : FCoE ドロップなし                              | 3 (FCoE を含む)                                     |

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

## レイヤ 2 およびレイヤ 3 のトポロジの設定の制限値

表 3 に、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) が使用されている Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチで、レイヤ 3 モジュール (N55-D160L3、N55-M160L3、および N55-M160UP) を使用している場合の設定の制限値を示します。

表 3 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 およびレイヤ 3 の設定の制限値

| 機能                                      | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム                    |  |
|---|--|--|
|   | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>                       | 上限 <sup>2</sup>                              |
| スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN                 | 1000 <sup>3</sup>                            | 4013 (31 は VSAN 用に予約)                        |
| VLAN/VSAN ID スペース                       | 未予約領域 4013                                   | 未予約領域 4013                                   |
| STP インスタンス                              | 16,000                                       | 16,000                                       |
| EtherChannel あたりのメンバインターフェイス            | 16   | 16   |
| IGMP スヌーピング グループ                        | 4000   | 4000   |
| Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチあたりの FEX の最大数 | 8 <sup>4</sup>                               | 8 <sup>4</sup>                               |
| vPC スイッチ ペアにデュアル ホーム接続された FEX の最大数      | 8 <sup>4</sup>                               | 8 <sup>4</sup>                               |
| MAC テーブル サイズ                            | 23,400 のユニキャスト エントリおよび 4000 のマルチキャスト エントリ    | 32,000 <sup>5</sup> エントリ                     |
| FEX ポート チャンネルの数/VPC (FEX の最大数を超過)       | 470  | 768  |
| SPAN セッション                              | 2 つのアクティブ セッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN    | 4 つのアクティブ セッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN    |
| SVI の数                                  | 256  | 256  |
| ダイナミック ルート <sup>6</sup>                 | 7200   | 7200   |
| マルチキャスト ルート                             | 2000   | 4000   |
| RACL                                    | 62 の入力 RACL (すべての RACL で最大 1664 個の ACE エントリ) | 62 の入力 RACL (すべての RACL で最大 1664 個の ACE エントリ) |
| VRF                                     | 25   | 1000   |
| ARP                                     | 6500 <sup>7</sup>                            | 8000   |
| HSRP グループ                               | 256  | 256  |
| VRRP グループ                               | 256  | 256  |

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

3. 4013 の VLAN が、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネルおよび FCoE トポロジの設定の制限値について検証済みです。
4. 24 の FEX がレイヤ 2 トポロジで検証されました。
5. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。
6. BGP/RIP/OSPF を含むルーティング プロトコル。
7. 最大 LPM エントリ、ARP エントリ、プラス SVI ルート エントリの合計は、12,000 エントリです。

## レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE トポロジの設定の制限値

表 4 に、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE 設定を使用する Cisco Nexus 5500 シリーズ ユニファイド ファブリック スイッチが含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

**表 4 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値**

| 機能                               | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム                   |   |
|----------------------------------|---|---|
|                                  | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>                      | 上限 <sup>2</sup>   |
| スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN          | 4013  | 4,013<br>(31 は VSAN 用に予約、残りは VLAN 用)                                    |
| VLAN/VSAN ID スペース                | 未予約領域 4013                                  | 未予約領域 4013  |
| STP 論理インターフェイス                   | 32,000                                      | 32,000  |
| IGMP スヌーピング グループ                 | 4000  | 4000  |
| スイッチあたりの FEX の最大数                | 9   | 24  |
| MAC テーブル サイズ                     | 23000 <sup>3</sup> のユニキャストおよび 4000 のマルチキャスト | 32,000  |
| スイッチ ポート EtherChannel の数         | 8   | 48 : Nexus 5548P および Nexus 5548UP スイッチ<br>96 : Nexus 5596UP スイッチ        |
| SPAN セッション                       | 2 つのアクティブ セッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN   | 4 つのアクティブセッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN                                |
| FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過) | 288   | 768   |
| FabricPath VLAN                  | 4000  | 4000  |
| FabricPath スイッチ ID               | 128   | 128   |
| FabricPath マルチキャスト ツリー           | 2   | 2   |
| FabricPath トポロジの数                | 1   | 1   |
| FabricPath コア リンクの数              | 2   | 4   |
| スイッチあたりのネイティブ FC リンク             | 8   | 8 : Nexus 5548 スイッチ<br>48 : Nexus 5548UP スイッチ<br>96 : Nexus 5596UP スイッチ |

表 4 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値 (続き)

| 機能  | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム |   |
|---|---------------------------|---|
|   | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>    | 上限 <sup>2</sup>   |
| N Port Virtualization (NPV) ポート グループあたりの Fabric Login (FLOGI; ファブリック ログイン) または FDISC の数 | 180                       | 255   |
| スイッチあたりのゾーン セット   | 32                        | 500   |
| 物理ファブリックあたりのゾーン メンバ (すべての VSAN を含む)   | 1280                      | 8000  |
| スイッチあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)   | 640                       | 8000  |
| SAN ファブリックの最大直径   | 7                         | 12  |
| スイッチあたりの FSPF インターフェイス インスタンス   | 192                       | 256 : Nexus 5548 スイッチ<br>1536 : Nexus 5548UP スイッチ<br>3072 : Nexus 5596UP スイッチ |
| スイッチあたりの ISL インスタンス   | 6                         | 8 : Nexus 5548 スイッチ<br>48 : Nexus 5548UP スイッチ<br>96 : Nexus 5596UP スイッチ       |
| VFC インターフェイス  | 288                       | 288   |
| 割り当てられた FCID の最大数   | 576                       | 2048  |
| ファイバチャネルフロー   | 32                        | 32  |

1. 検証されたトポロジ: 一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限: 対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。

表 5 に、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE 設定を使用する Cisco Nexus 5000 シリーズ ユニファイド ファブリック スイッチが含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

表 5 Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値

| 機能                      | Cisco Nexus 5000 プラットフォーム |   |
|-------------------------|---------------------------|---|
|                         | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>    | 上限 <sup>2</sup>                               |
| スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN | 504                       | 507<br>(FCoE がイネーブルの場合<br>は 504) 31 は VSAN 用。 |
| VLAN/VSAN ID スペース       | 未予約領域 4013                | 未予約領域 4013                                    |
| STP インスタンス              | 12,000                    | 12,000  |
| IGMP スヌーピング グループ        | 1000                      | 1000  |
| スイッチあたりの FEX の最大数       | 12                        | 12  |

表 5 Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値 (続き)

| 機能  | Cisco Nexus 5000 プラットフォーム                 |   |
|---|---|---|
|   | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>                    | 上限 <sup>2</sup>                                       |
| MAC テーブル サイズ  | 13,800 <sup>3</sup>                       | 16,000  |
| スイッチ ポート EtherChannel の数  | 16 ユニット                                   | 16 ユニット (組み合わせて 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート) |
| SPAN セッション  | 2 つのアクティブ セッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN | 2 つのアクティブセッション<br>TX 送信元として 32 の送信元 VLAN              |
| 設定可能な QoS グループ (クラス デフォルトを含む)   | 6   | 6   |
| ドロップなし QoS グループ   | 2 (FCoE を含む)                              | 3 (FCoE を含む)  |
| スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)  | 128 (10 個の一意の VACL)                       | 1024 (128 個の一意の VACL)                                 |
| EtherChannel あたりのメンバインターフェイス  | 16  | 16  |
| FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)  | 496                                       | 576   |
| スイッチあたりのネイティブ FC リンク  | 16  | 16  |
| N Port Virtualization (NPV) ポート グループあたりの Fabric Login (FLOGI; ファブリック ログイン) または FDISC の数 | 106                                       | 255   |
| 仮想または物理 F ポートあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)  | 32  | 32  |
| スイッチあたりのゾーンセット (すべての VSAN を含む)  | 32  | 500   |
| 物理ファブリックあたりのゾーン メンバ (すべての VSAN を含む)   | 640                                       | 8000  |
| スイッチあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)   | 320                                       | 8000  |
| SAN ファブリックの最大直径   | 7   | 12  |
| スイッチあたりの FSPF インターフェイス インスタンス   | 192 ユニット                                  | 512 ユニット  |
| スイッチあたりの ISL インスタンス   | 6 ユニット                                    | 16 ユニット   |
| VFC インターフェイス  | 160                                       | 160   |
| 割り当てられた FCID の最大数   | 320                                       | 2048  |
| ファイバチャネル フロー  | 32  | 32  |

1. 検証されたトポロジ: 一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限: 対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。



## レイヤ 2 スイッチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値

表 6 に、Cisco Nexus 5500 シリーズの Adapter-FEX/VM-FEX 設定が含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

表 6 Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値

| 機能  | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム    |                              |
|---|------------------------------|------------------------------|
|   | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>       | 上限 <sup>2</sup>              |
| 仮想イーサネット インターフェイス上の VFC の数                | 40                           | 40                           |
| Cisco Nexus 5500 のポート プロファイルの数            | 1000                         | 1000                         |
| 同時に VMOTION される Cisco Nexus 5500 の仮想マシンの数 | それぞれ 10 個の vNIC を備えた 5 個の VM | それぞれ 10 個の vNIC を備えた 5 個の VM |
| VNIC のシェーピングがイネーブルにされた仮想イーサネット インターフェイスの数 | 2000                         | 2000                         |
| タグなし CoS が設定されている仮想イーサネット インターフェイスの数      | 2000                         | 2000                         |
| サーバ：サーバごとのアダプタの数                          | 1                            | 1                            |
| サーバ：サーバごとの VNIC の数                        | 50                           | 96                           |

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

## レイヤ 2 スイッチング Cisco TrustSec の設定の制限値

表 7 に、Cisco Nexus 5500 シリーズ Cisco TrustSec (CTS) 設定を含むトポロジでの設定の制限値を示します。

表 7 Cisco NX-OS Release 5.1(3) レイヤ 2 スイッチング CTS の設定の制限値

| 機能   | Cisco Nexus 5500 プラットフォーム |                 |
|--|---------------------------|-----------------|
|  | 検証されたトポロジ <sup>1</sup>    | 上限 <sup>2</sup> |
| セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの ACE           | 128                       | 128             |
| セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの VLAN          | 100                       | 100             |
| セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの SGT/DGT 権限リスト | 100                       | 100             |
| SXP 接続の数                                   | 4                         | 4               |
| IPv4-SGT マッピングの数                           | 2000                      | 2000            |
| CTS インターフェイスの最大数                           | 192                       | 192             |

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

## 関連資料

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ Fabric Extender のマニュアルは、次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html)

次に、Cisco Nexus 5000 シリーズ および Cisco Nexus 2000 シリーズ Fabric Extender に関連するマニュアルを示します。

## リリース ノート

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Release Notes』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』

## コンフィギュレーション ガイド

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) and Release 4.2(1)N2(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel over Ethernet Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Quality of Service Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS SAN Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch NX-OS Software Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series Fabric Manager Configuration Guide, Release 3.4(1a)』

『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 6.x』

『Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender Software Configuration Guide』

## メンテナンスおよび操作ガイド

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Operations Guide』

## インストレーションガイドおよびアップグレードガイド

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide』

『Cisco Nexus 2000 Series Hardware Installation Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide, Release 4.2(1)N1(1)』

『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Nexus 5000 Series Switches and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extenders』

## ライセンスガイド

『Cisco NX-OS Licensing Guide』

## コマンドリファレンス

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS FabricPath Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fabric Extender Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Interfaces Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS QoS Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS TrustSec Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Command Reference』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS vPC Command Reference』

## テクニカルリファレンス

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender MIBs Reference』

## エラーメッセージおよびシステムメッセージ

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Messages Reference』

## トラブルシューティング ガイド

『Cisco Nexus 5000 Troubleshooting Guide』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

Copyright © 2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2011–2012, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.